

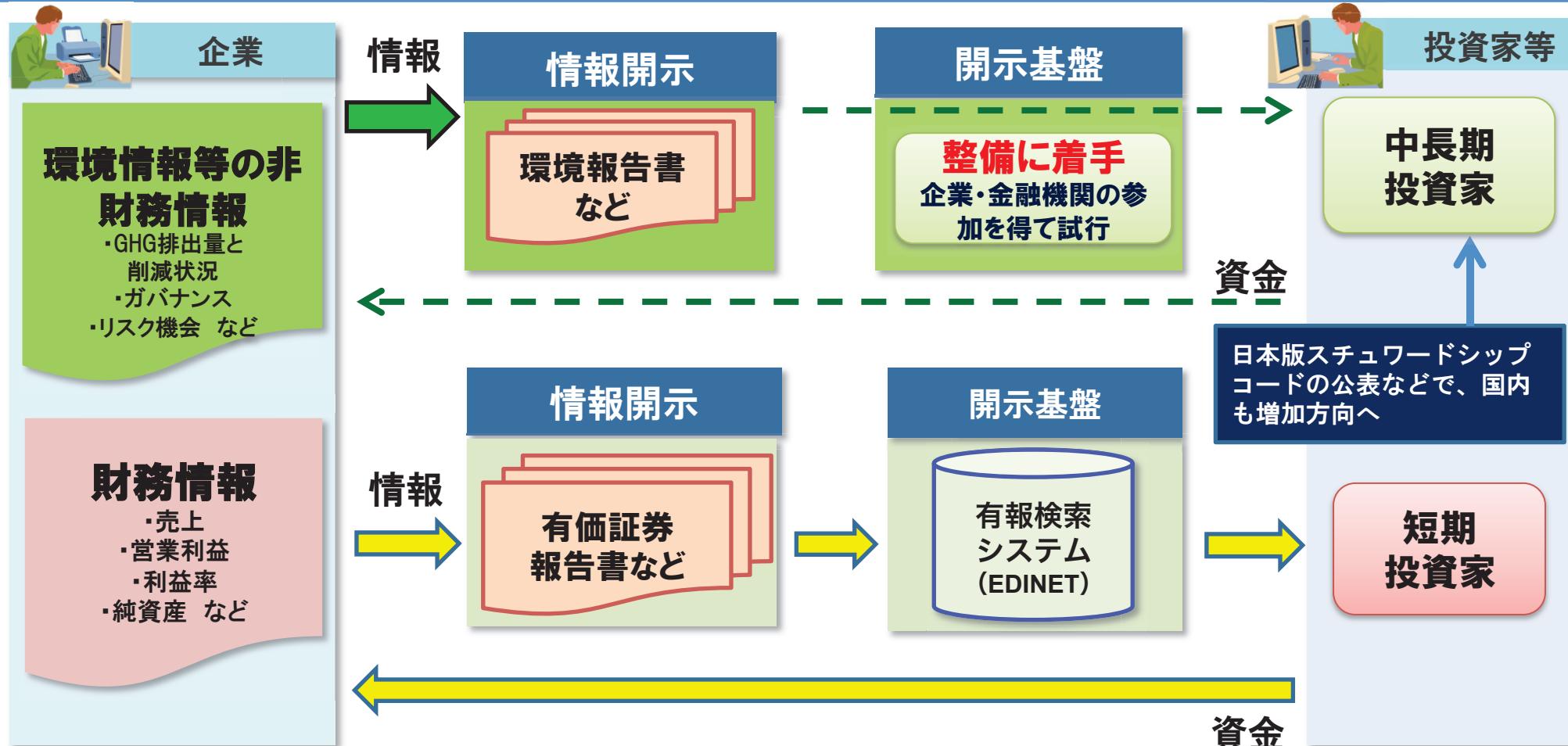
2015年8月26日(東京)
サプライチェーン排出量算定セミナー

「平成27年度環境情報開示基盤整備事業」における 情報登録企業の募集について

環境省 総合環境政策局 環境経済課

環境情報の開示促進

- 環境報告書作成の取組を支援－環境配慮促進法(2005年施行)
- 投資家等に環境情報が活用されるようにするための**情報基盤整備**を開始(2013年度～)
 - ・財務報告で広く採用されているXBRL *を活用
*eXtensible Business Reporting Language :財務報告の作成・流通・利用が容易となるコンピュータ用語。世界約50カ国で導入が進んでいる。
 - ・CDPの質問票等を参考に、関係者にとって効率的・効果的なツールを目指す



平成26年度の概要と成果

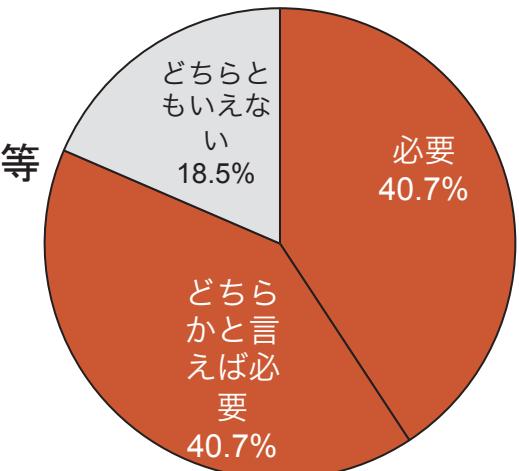
2015年3月時点

参加企業等数	企業: 103 金融機関等: 27
アクセス数	約75,000件 (2014年12月から2ヶ月の試行期間中の当該開示基盤へのアクセス数)
主な開示情報	<ul style="list-style-type: none">➤ 気候変動➤ 水資源➤ 廃棄物排出・管理➤ 化学物質の取扱い等 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 20px;"><ul style="list-style-type: none">戦略目標リスク機会</div>

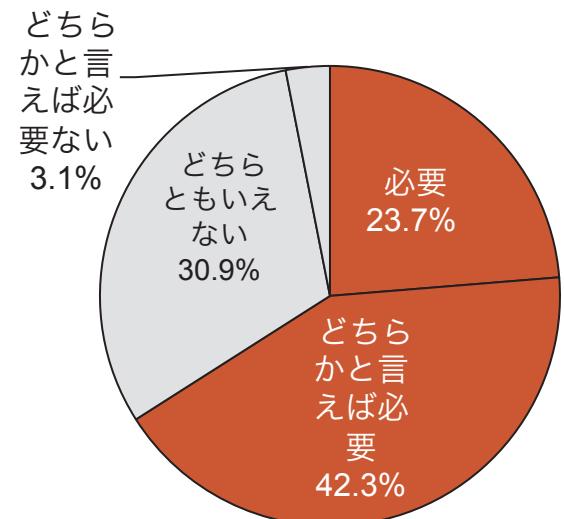
- 当該情報開示基盤整備は、平成25年度～3ヶ年の試行事業として実施中。
- 平成27年度は、より多くの企業・金融機関等の参加による試行実施(非公開)とし、システム面での完成を目指す。
- 平成28年度は、本開示基盤を一般公開を予定。

環境情報開示基盤本格運用
必要性アンケート

金融機関等
N=27



企業
N=97



平成27年度の改良点

- ①500以上の意見を詳細に検討
- ②入力の手間を更に軽減
 - ・入力項目は必要最小限
 - ・コピー機能、入力ガイダンス、ヘルプデスクの充実
 - ・操作性の向上
 - ・CDPやGRIと連携
- ③検索機能の充実
 - ・全文検索機能の追加
- ④個別的対話の練習ができる機会を用意します
- ⑤参加企業の増加／投資家の増加を図ります

【参加特典】

- ・事業報告会(平成28年3月頃)への優先出席
- ・アンケートの集計データを提供します